

サーキット・ライダー2007年 2月号

愛：赦しあい

あなたがたは神に選ばれて、聖なる者とされ、愛されているのですから、憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。互いに忍び合い、責めるべきことがあっても、赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたも同じようにしなさい。これらすべてに加えて、愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです。コロサイの信徒への手紙 3：12-14。

去る1月8日から13日まで、実質4泊6日で日本人特別牧会（SMJ）のハワイ・ツアーに行ってきました。一般に皆さんはハワイと聞くとビーチやサーフィン、ココナツ、フラダンス、島周りクルーズなど、目一杯観光のイメージを思い浮かべるとは思います。今回の旅行は日系教会、教育機関、歴史的史跡等を巡り、講義を聴くという研修旅行でした。アメリカ東部から10名（主に牧師）、日本から女性牧師、教育主事の会の方々8名の合計18名が参加し、短い時間ですが有意義な時を持つことが出来ました。以前ハワイ・ヌアヌ組合派教会（UCC）で働かれた浅田容子牧師が企画し通常では行けないような場所に連れて行って下さいました。四国の高知城そのままの外見をもつマキキ教会、ハワイで最も古いハリス合同メソジスト教会、ハワイ宣教の発祥の地ミッション・ハウスやポリネシア系ハワイ人の為のエリート学校カメハメハ学校、ロイヤル・パレス、ハワイ大学の障害者教育プログラム、日米開戦の場、真珠湾などに行き、現地の牧師や専門家から貴いお話を伺いました。恐らく以前ハワイに行ったことのある皆さんも行かれたことの無い場所が多いのではないのでしょうか。

さて教会を回り、UCC教団本部やカメハメハ学校、ロイヤル・パレスを巡るうちに今日までハワイの諸教会が抱えている問題を伺い知りることができました。ハワイ伝道はボストンやニューヘイブンというアメリカ東部から白人宣教師が送られた1819年に遡ります。1820年に最初の宣教師が到着して以来、ハワイはキリスト教の布教が繰り返され19世紀の半ばまでにはカメハメハ王家の人々もクリスチャンとなり、それに続いて一般の人々（ポリネシア系ハワイ人）もどんどんクリスチャンになっていきます。ハワイ伝道はハワイの近代化と共に歩んだと言っても言いすぎではありません。宣教師が残した功績は賞賛されるものがあります。しかしその一方、宣教師及び教会はアメリカやヨーロッパの植民地主義の下、20世紀初頭にはハワイ王朝を廃朝し、ハワイをアメリカ連邦政府の直轄領にする圧政に加担してしまします。ハワイ人の多くは先祖伝来住んでいた土地を追われ、そこに次々と白人所有の建物が立ち並び、教会も立てられていきました。その政治機構、力関係は今日にまで及び、近年ハワイ経済の主導は白人と移民して成功した日系人の一部が握っており、ハワイ人の多くは貧困層を形成しているそうです。

その過去の過ちを正すべく1993年にUCC教団はハワイ人教会に正式に謝罪文を出し、更に50以上あるハワイ人の各教会に一律3万ドルずつ補償金を払いました。私はこの歴史的快挙の話をもUCC教団本部で拝聴し、白人教会の潔さ、クリスチャンとして歩み寄ろうとする姿勢に感動しました。ところが残念ながら、ここでハワイ人教会と白人教会が歩み寄ったかという点、どうもそうでもなく、いまだにハワイ人教会の一部の人々が「3万ドルの補償金では不足だ」とか「我々から奪った土地を返せ」と要求しているそうです。一部ではあっても、真に和解できずに自分達の権利を主張して譲らない人々がいると知った時、私は今のイスラエルとパレスチナ、日本と中国、韓国、北朝鮮の関係を思いました。双方がお互いの権利のみ主張して譲らない状態は更なる感情のもつれ、憎悪、暴力を生み出します。際限がありません。

これは個人の関係にも同じことが言えます。夫婦間、恋人間、友人、親子、職場の関係などで一度諍いを起こしてしまうとなかなか仲直りできないのが私達人間です。自分の非を認める代わりに相手の非ばかり責めてしまう。お互いに自分の主張を繰り返して譲らない。これでは憎しみが増すばかりです。聖書の中でイエス様や使徒パウロは何度も「互いに愛し合う」こと「責めないで赦しあう」ことを教えています。イエス・キリストは自分が無実にも拘らず人間の罪を背負って十字架にかかって下さいました。その十字架の上でさえ、今正に自分を殺さんとしているローマ兵達に向かって「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです。」と赦しの祈りを捧げました。ともすると怒りに目が眩み自分のことは棚に上げて他者を責める私達でさえ、このイエスの赦しに預かっているのですから、私達はもっとも「互いに愛し合い」、「赦しあって」生きたいものです。 吉松 純

礼拝、J r. 教会（日曜学校）は毎日曜日午後4時です。

祈られたい方の為にチャペルを午後3時30分より開放しています。どうぞご利用ください。

2月 4日：自由祈禱会、礼拝：聖餐式、J r. 教会：節分にちなんだ行事

11日：自由祈禱会、礼拝、J r. 教会：奉仕を学ぶ

18日：自由祈禱会、礼拝、J r. 教会：おはなし会

25日：自由祈禱会、礼拝、J r. 教会：苦難節について学ぶ

3月 4日：自由祈禱会、礼拝：聖餐式、J r. 教会：桃の節句にちなんだ遊び

行事予定と報告

* 8日（木）午前10時からフォートリーベタニア合同メソジスト教会で聖研。

* 11日（日）日本語礼拝後、午後6時より、英語教会主宰でヴァレンタイン持ち寄り夕食会があります。夕食、讃美、ハンドベル演奏と楽しいプログラムです。皆様どうぞご参加下さい。

* 14日（水）吉松牧師が講師でNJ日本語教会主催メトロポリタン美術館ツアーがあります。1月29日の時点で申し込みが一杯になったとのこと。感謝いたします。

* 21日（水）午後7時30分、ヒルズデール合同メソジスト教会にてヒルズデール、ウエストウッド、パークリッジの3メソジスト教会合同で灰の水曜日(Ash Wednesday)特別礼拝（英語）があります。レント（苦難節）の初めの礼拝です。どうぞご参加下さい。

* 23日（金）午前10時30分より牧師館にて聖書の学び。マルコによる福音書第四章。佐藤彰牧師の本を使つての学び。

* 毎週火曜日午前10時より教会カウンセリング・ルームにてアメリカ人の婦人会メンバーと聖書研究会（英語）があります。英語を学びたい方、聖書に興味ある方は是非ご参加下さい。

* 3月17日（土）午後7時より、ニューヨーク日本語教会の田辺尚玄兄、嶋田あや姉、当教会の松尾孝恵姉をお迎えしてJゴスペル・コンサート&ユーリズミー・スピリチュアル・ダンスがあります。案内は3月号に同封しますが、今から日程を御確保下さい。

お知らせ：

* 今年の夏も小学生を対象としたサマーキャンプをします。その案内ができました。ご近所で小学生のお子さんがいらっしゃる方に是非お勧め下さい。

御協力お願い致します。献金のあて先はUMC-JAとし、寄付のあて先をNoteに記してください。

* ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。

* 消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)に送ります。JOCS海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。

* ケニヤの恵まれない子供達やエイズの患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。

* パターソンのSt. Philip伝道と社会福祉団体CUMAC/ECHOの為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

連絡先：英語オフィス(201) 391-5499 日本語オフィス兼ファックス (201) 505-0347

吉松牧師 (201) 391-2208 pastor@umc-japan.org 代表役員：松尾孝恵姉 Takae17A@aol.com

教会学校担当：吉松 泉姉 izumi.sakaguchi@gmail.com ホームページ：<http://umc-japan.org> * 牧師雑記帳にコメントを入れられるようになりました。ご覧下さい。